

ダメされてはいけません！

「待機時間」は観念の世界！ 具体的作業時間ではない！

乗務員の労働時間は「乗務行路表」 に示す項目のみだ！

新幹線乗務行路表（運転士）																
乗務行路	乗務キロ	労働時間												労働外時間		
		乗務時間					便乗	準備報告	折返時間		付加時間		小計		訓練	合計
		本線	加算	構内	加算	計			折返し	加算	車看等	その他				

大阪第二運輸所では3月のダイヤ改正に伴う大量の規程類の変更が発生するため、資料を受け取り訂正するよう掲示で指示しています。今回、東海労が取り組んだ規程類の変更に要する労働時間の問題を労基署に要請したことで、会社が指導されました。これまでの掲示になかった文言が加わりました。「訂正作業は、待機時間で行うこと」とする文章は会社が社員にサービス労働を強いてる問題を指摘された結果、一生懸命に知恵を絞って考えた結果の一行です。管理者に「待機時間」とは乗務員の労働時間のどこにあたるのかを質問すると「作業指示のない労働時間」と答えました。会社はこんな曖昧な指導やごまかしが社員に通用すると思っているのでしょうか。

上記の「新幹線乗務行路表」は乗務員に勤務指定される作業指示内容が書かれたものです。要するに乗務員の労働時間は明確に定めているので「待機時間」などという時間はありません。乗務員は何もしてない時間があると管理者は言いますが、それはあくまでも乗務員が行路票で指示された時間であって、訂正を指示する時間ではありません。いかにも「時間」があるようにいうのは会社がつくった「観念」「思想」の押し付けです。重要な運転操縦に定められた時間に余分な作業を指示すること自体、安全を脅かす間違った指導であり考え方です。会社は改めて、机上の訓練時に訂正時間を設定するなど、規程類の変更に伴う時間を儲けるべきです。